

活動アルバム



MORIYA ALBUM



「安全・安心まちづくり県民の集いふくおか」に警察委員として参加しました。



「令和7年度飲酒運転減県民大会」に参加しました。



在福岡アメリカ領事館のヴァーサバーキンス首席領事と共に。



堤丘校区の「健全育成パトロール」を視察しました。



長尾公民館で開催された「ながお福祉まつり」を視察しました。



「鳥飼校区青少年非行防止パトロール」を視察しました。



福岡市指定無形民俗文化財「田島神楽」を視察しました。



「九電ユニオン本店支部分会研修」の中で県政報告を行いました。



片江公民館「老年大学」の皆さんと知事室を訪問しました。



「片江校区防災訓練」を視察しました。



「堤地区避難所宿泊体験」を視察しました。



9月21日は認知症の日!県庁で行われたイベントに参加しました。

PROFILE

昭和40年 6月21日／福岡市生まれ
昭和59年 西南学院高等学校卒業
平成 元年 西南学院大学商学部商学科卒業
平成 元年 近畿日本ツーリスト(株)入社
平成 8年 衆議院議員秘書(国会内)

平成16年 (株)九電ビジネスフロント入社
平成19年 県議会議員初当選
平成23年 県議会議員2期目当選
平成27年 県議会議員3期目当選
平成29年 第79代福岡県議会副議長就任
平成31年 県議会議員4期目当選
令和 5年 県議会議員5期目当選

○第79代福岡県議会副議長
○警察委員会
○スポーツ立県調査特別委員会
○国際交流推進議員連盟副会長
○福岡県総合計画審議会委員
○家族 妻 聰子(社会福祉士・介護支援専門員) ラニ(柴系犬)

○西南学院高等学校同窓会評議員
○西南学院大学同窓会百道会会員
○別府小おやじの会特別会員
○九州電力総連組織内議員
○福岡県交通遺児を支える会理事

県政報告

福岡県議会議員(福岡市城南区)

もり や ま さ と

守谷正人



MORIYA REPORT

Vol.68 (2025.11発行)

〒814-0104 福岡市城南区別府6-2-10
e-mail: m.moriya0621.1965@gmail.com
TEL 092-851-3679 FAX 092-851-3670

ホームページ上で政策や日々の活動を紹介すると共に、
県民の皆様のご意見ご質問を随時受付しております。



2025年(令和7年)9月定例県議会の概要

9月定例会は、9月8日から10月14日までの37日間の会期で開催されました。

開会日に知事から、令和7年度福岡県一般会計補正予算案1件、条例議案7件、契約議案23件、人事議案2件など計40議案が提案されました。

9月16日には8月に発生した大雨災害の復旧等のための補正予算案1件、並びに決算議案20件が追加提案されました。

代表質問、一般質問、及び各常任委員会を経て9月29日に開催された本会議で決算議案を除く41議案が可決されました。その後、決算特別委員会で決算議案の審査を経て、定例会閉会日に採決が行われ、20議案が可決されました。



樋井川での樹木の伐木・除草が実施へ!

県議会決算特別委員会で「樋井川の樹木の伐木や除草の実施」などを県土整備部に要望しました。

県からは、今年度、樋井川での木の伐木は12月下旬に田島校区の田島橋から新田島橋で実施する予定との回答があり、浚渫についても田島橋下流で除草、樹木の伐木の後、浚渫の必要性について調査を行う計画であるとのことです。また、樋井川橋から上流100m間についても除草を行う予定です。

加えて、行政区が異なる中央区などでの除草については、統一的な除草の実施や福岡市と県の除草等での連携の強化も要望しました。



河川環境の保全、河川利用にあたっての安全の確保、ごみ等の不法投棄の抑止や犯罪の抑制を目的に樋井川においても除草の実施と浚渫の調査、また今後も日常の巡回や地元の要望等をもとに現地確認を行い、洪水時の流害や河川施設に与える影響を考慮し、適正な管理を適宜行うよう強く要望しました。

福岡県議会9月議会につきまして <予算編成の考え方>

令和7年8月大雨災害の復旧・復興対策として、被災した農林漁業者への支援、公共施設の復旧等に取り組むとしています。(補正予算額は92億8,900万円)

被災農林漁業者への緊急支援

○次期作に向けた種苗や資材の購入等を支援 7,818万円

公共土木施設の復旧等

○被災した道路や河川などの早期復旧 62億9,042万円

- ・道路(98か所)、河川(171か所)、砂防施設(32か所)
- ・県営住宅敷地内の法面復旧

○災害復旧の効果を高め、災害の再発を防止 16億5,604万円

- ・崩壊した林地に治山施設を設置(22か所)
- ・河川の浚渫(6か所)、堤防嵩上工事(2か所)等を実施

○道路及び海岸などの応急対応を実施 11億8,069万円

- ・道路に堆積した土砂や倒木の撤去等を実施(121か所)
- ・海岸に漂着した流木の撤去(6か所)等を実施



人事案件 大曲昭恵副知事の後任に、県教育庁前副教育長の上田哲子さんを起用する人事案に同意。9月17日付けで副知事に就任。

主な意見書 ガソリン税の暫定税率の廃止や消費税の減税などをめぐり、実施する場合は地方の財政運営に支障が生じないよう代替となる恒久財源を確保することを国に求める意見書。

決算特別委員会

決算特別委員会では、付託された議案(前年度の決算など)について審査がなされ、付託された決算関係議案について、採決の結果、いずれも起立多数をもって認定されました。私も31名の委員の一人として執行部に対して質問を行いました。

再生可能エネルギーの有効活用について(企画地域振興部)

2050年カーボンニュートラルの実現という、地球規模での課題解決に向け、現在、電源構成の7割を占める火力発電を、いかに脱炭素電源へ置き換えていくかなど、電力部門における大胆な脱炭素化を推進していく必要があります。このような状況において、「再生可能エネルギーの有効活用」は、エネルギーの安定供給や脱炭素化に繋がる重要な鍵です。



そのためにも、主な取組として洋上風力発電の導入、ペロブスカイト太陽電池等の普及推進等を行っています。近年、九州では発電量をコントロールする「出力制御」が行われており、エネルギーが有効に活用されていない状況が判明しました。その解決策として、九州から本州へ電力を供給する国による送電線「関門連携線」の早期増設の実現を強く要望しました。

「障がいのある方の就労支援の充実」について(福祉労働部)

平成29年に「福岡県障がいを理由とする差別の解消の推進に関する条例」を制定し、障がいの有無に関わらず相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に寄与することを目的として、各種施策に取り組んでいます。



そんな中、県内では障がいのある方をひとりも雇用(国が定める基準を満たしていない)をしていない企業が本県に1,300社以上あることが判明しました。

また、高次脳機能障害や難病患者、発達障がい者などの障がい者雇用率制度の対象外となっている方には診断書などにより対象に追加する様に国に引き続き要請しました。

本県の平均工賃の月額順位はこれまで全国40位代、昨年度は34位に上昇。今後も様々な施策や支援によって工賃が更に上がる様に県に要望しました。

自転車の一定の交通違反に青切符が導入されます

自転車をはじめとする軽車両の一定の交通違反に交通反則通告制度を適用する「道路交通法の一部を改正する法律」が令和8年4月1日から施行され、自転車の一定の交通違反で検挙された後の手続きが大きく変わります。

「交通反則通告制度」いわゆる「青切符」が導入されます。



対象車両 自転車 対象年齢 16歳以上

対象となる行為「113種類」 反則金額は原付バイクと同等

- | 認知件数 | 被害額 | 検挙人員 |
|--------|-----|----------|
| R7.1~9 | 23件 | 4,819万円 |
| 前年同期比 | +1件 | -6,094万円 |
- 右側通行(通行区分違反) ○侵入禁止(通行禁止違反) ○並走
○歩道通行(通行区分違反) ○一方通行(通行禁止違反) ○傘さし運転(公安委員会遵守事項違反)
○遮断踏切立入り ○信号無視 ○周りの音が聞こえない(公安委員会遵守事項違反)
○指定場所一時不停止 ○携帯電話使用等 ○交差点右左折方法違反などがあります。

酒気帯び運転等の悪質な違反については、従来通り、刑事処分の対象となります。

その他不明な点は、警視庁交通局がホームページで掲載している「自転車ルールブック」をご参照ください。また、福岡県警察ではホームページにおいて自転車の交通ルールが学べる「自転車の学校」を掲載していますので、ぜひご確認ください!



自転車の学校 ルールブック

城南区の事件事故等の状況 <城南警察署より>

1.刑法犯発生状況(R7年9月末)

刑法犯合計		罪種別認知件数		
認知件数	検挙件数	検挙率	凶悪犯	窃盗犯
R7.1~9	807件	306件	37.9P	6件
前年同期比	+87件	+29件	-0.6P	+3件

- 特徴
- ・窃盗犯のうち56%が、自転車盗であり、そのうち67%が無施錠状態で被害。
 - ・凶悪犯については、不同意性交4件、放火2件。

2.交通事故等発生状況(R7年9月末)

交通事故発生状況

人身事故数				
	死亡事故	高齢者関連	子供関連	自転車関連
R7.1~9	207件	0件	71件	10件
前年同期比	+19件	-2件	+4件	±0件

- 特徴
- ・人身事故は増加傾向(高齢者・自転車及びバイク関連の事故が増加傾向)。
 - ・飲酒検挙件数が激増(自転車の酒気帯び運転が大多数)
 - ※10月6日、鳥飼地区の交差点にてバイクとタクシーによる衝突事故により、死亡事故が1件発生している。